

乾しいたけ栽培技術情報「残暑対策」 H22-6

1. 概況と見通し

〔気象〕 今月は、気温、湿度ともに、平年よりも高い日が続いています。気象庁が 8/27 に出した「異常天候早期警戒情報」では、9 月上旬の気温が「かなり高い」と予想されています。例年であれば、そろそろ涼しくなる時期ですが、今年は今しばらく残暑が続きそうです。

降水量は平年並みか、やや少なめですが、集中的な豪雨が発生し、7 月には岩手町でホダ場が冠水する被害も発生しています。

2. 今後の作業ポイント

(1) 高温対策

林内ホダ場の直射日光対策として遮光資材で被覆している場合、資材をホダ木に直接掛けると、資材とホダ木との間の風通しが悪くなり、ホダ木上部の温度が上がります。高温障害が発生する恐れがありますので、ホダ木と資材の間にソダや角材などを入れて、隙間を開け、風を通しましょう。日当たりが強い場合には、遮光資材の二重張りも効果的です。裸地伏せの場合も、ホダ木と被覆の間に 15cm 以上の隙間を空け、高温障害を防ぎましょう。

朝方の散水も温度を下げる効果があります。

(2) 過湿（ムレ）対策

沢沿いや暗いスギ林などのホダ場（伏せ込み場）の一部では、例年よりも湿度が高いようです。この状態が続くと、ホダ木の水抜けが悪くなったり、多湿を好む雑菌（例えばダイダイタケ、粘菌類など）が発生するなど、その後の発生に影響が出ますので、ムレが心配なホダ場では、

○ネットを上げる ○ホダ場周囲の草を刈り払う

ことなどにより、ホダ場の風通しを良くしましょう。

なお、気温の上がる日中の散水も、ムレの原因となります。

○この情報に関するお問合せはこちらまで（岩手県しいたけ産業推進協議会事務局）

林業振興課 電話:019-629-5770 FAX:019-629-5779 E-mail:AF0010@pref.iwate.jp

○この情報を含め、様々な相談はこちらまで

林業技術センター 電話:019-697-1536 FAX:019-697-1410 E-mail:ce0011@pref.iwate.jp